

12. 文化・芸術

	タイトル	意見等
1	徳島市新ホールデザインについて	現在藍場浜で建設が計画されている県立新ホールのデザインに関して、旧文化センター跡地計画時の、石上純也氏設計のデザインを継承することを提言いたします。その最大の理由はその独創的なデザインが有する魅力と話題性、観光資源としての価値です。現在、徳島市中心市街地は百貨店の閉店など商業地、観光地としての価値が減退しており、賑わい創出にはつながっていません。県立ホール再開発は、西新町再開発と合わせて県都の賑わい創出に大きく貢献するものと考えます。しかしホールはイベントなど一時的に人流を生み出す装置で、これを恒久的な賑わい創出の拠点とするには建物自身の個性すなわち外観、デザインを強調するのが最も効果的であると考えます。平凡なデザインではいち行政施設としての機能にとどまり、再開発の意義は損なわれてしまうのではないのでしょうか。藍場浜に建設されるホールが繁盛すると対岸の西新町への人流の回路が生まれ、阿波踊り会館など中心市街地の観光施設全体に正の影響が及ぶ可能性もあります。予算や他の市民の方の意見との兼ね合いもありますが、徳島市、県の人口が減少する中話題性の高い施設を建設することで観光客の増加、中心部への人流構築は市街地活性化に必須であると考え、切に旧デザインでのホール建設を提言させていただきたく思います。
2	新県民ホール整備計画について	○ 後藤田正純徳島県知事は新県民ホール整備計画については、徳島県民一人一人が望む日本一の広くて立派な良い新県民ホールにしなければならない。 ※ カナモトホール(札幌市民ホール)、東京国際フォーラム、神奈川県民ホール、愛知県芸術劇場、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール、神戸国際会館、岡山芸術創造劇場ハレノワなど